



令和7年8月21日

報道提供資料

消防職員の積極的な熱中症予防対策

我孫子市消防本部では、一般社団法人ジャパンデザインが官民一体で行う熱中症予防の啓発活動「熱中症予防声かけプロジェクト」に参加し、消防職員の積極的な熱中症予防対策を実施しています。小久保製氷冷蔵株式会社から無償提供される「ロックアイス®」を市内消防署へ配備し、救急搬送後や訓練後に体温を下げるクーリングを積極的に行っているほか、8月5日（火）には市民向けの啓発活動の一環として、夏休みの児童・生徒を対象とした救命講習会の中で「氷を活用した熱中症予防対策講習」を実施しました。

市では、すでに多くの方が熱中症により救急搬送されており、熱中症予防に向けた啓発活動を強化しています。熱中症で救急搬送される方の中には、職場での作業中に熱中症となる方も多数いらっしゃいます。

このような中、令和7年6月1日に「改正労働安全衛生規則」が施行され、対象となる作業を行う事業者については「職場における熱中症対策の強化」を行うことが義務付けられました。

【対象となる作業】

「WBGT（暑さ指数）28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

※我孫子市消防本部では、主に火災出動や救急出動が対象となります。



【問い合わせ】

我孫子市 消防本部 警防課

担当：竹田、栗崎、吉田

☎ 04-7181-7701